

特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会  
平成 21 年度（2009 年度）定例総会  
議事次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 定数確認
4. 議長選出
5. 議事録署名人指名
6. 議事
  - 第一号議案 平成 20 年度事業報告および会計報告について
  - 第二号議案 平成 21 年度事業計画および予算について
  - 第三号議案 理事及び役員を選任について
  - 第四号議案 その他（今後の研究会活動について）
7. 議長解任
8. 閉会

(資料)

1. 平成 20 年度事業報告書および収支決算書
2. 平成 21 年度事業計画書および予算書（案）

日時：平成 21 年 6 月 7 日（日）11 時より 12 時

場所：港区障害保健福祉センター7階 竹芝小ホール

〒105-0014 東京都港区芝 1-8-23 電話 03-5439-2511

連絡先：サポート研事務局 044-271-8788（担当 加藤・村尾）

平成 20 年度事業報告書

1. 組織会員の動向  
(会員数)

研究会名	会員数	備考
第 1 研究委員会	15 名	
第 2 研究委員会	39 名	
第 3 研究委員会	8 名	
第 4 研究委員会	11 名	5 名+6 名
第 5 研究委員会	31 名	
第 6 研究委員会	24 名	
未定	11 名	
情報会員	20 名	
合計	159 名	

2. 役員構成

役職名	氏名	所属研究会
会長	赤塚 光子	第 6 研究会
副会長	金沢 信一	第 3 研究会
副会長	柴田 洋弥	第 5 研究会
副会長	坂田 晴弘	第 4 研究会
事務局長	村尾 朗	第 1 研究会
理事	松永 徹	第 1 研究会
理事	魚谷 早苗	第 1 研究会
理事	赤平 守	第 2 研究会
理事	稲木 俊夫	第 2 研究会
理事	澤 健司	第 2 研究会
理事	末村 光介	第 2 研究会
理事	安藤 真洋	第 3 研究会
理事	加藤啓一郎	第 3 研究会
理事	小林 博	第 3 研究会
理事	寺谷 富和	
理事	明石 洋子	第 5 研究会
理事	中島 博幸	第 5 研究会
理事	伊藤 寿浩	第 6 研究会
理事	岩崎 隆彦	第 6 研究会
理事	荒木 大輔	第 6 研究会
監事	永倉 春男	
監事	清水 明彦	
顧問	中西 正司	
顧問	松友 了	

3. 障害者の生活支援に関する研究活動

(1) 研究委員会活動

- ◆ 第一研究委員会 「障害者の自立支援」
- ◆ 第二研究委員会 「地域生活支援」
- ◆ 第三研究委員会 「自己決定」

- ◆第四研究委員会「就労支援」
- ◆第五研究委員会「サポートシステム」
- ◆第六研究委員会「ライフサイクル支援」

4. 障害者の生活支援に関する講演会、セミナー活動については別紙参照  
(特定非営利活動法人事業報告書として東京都へ提出)

5. 理事会開催報告

- (1) 通算 73 回理事会 平成 20 年 4 月 19 日 (土) 13 時～17 時
- (2) 通算 74 回理事会 平成 20 年 11 月 9 日 (日) 10 時～12 時
- (3) 通算 75 回理事会 平成 21 年 2 月 1 日 (日) 15 時～16 時

6. その他の事業

- (1) ホームページの運営
- (2) メーリングリストの運営

## 平成20年度事業報告書

20年4月1日から21年3月31日まで

特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会

## 1 事業の成果

会員による研究会活動を通じて障害者支援の課題について検討することができた。また研究セミナーなどを開催することにより、障害者支援について普及啓発することができた。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
公開セミナー	「罪を犯した障害者、その生き難さへの支援とは？」 関谷直人氏、上野友靖氏 (講演) 上記のお二人に石川亘氏を交えてシンポジウム	2008年 6月7日 13時30分～17時	港区立障害保健福祉センター	20名	障害者の生活支援に関わる者約150名	
ジョイントプロジェクト2008(1)	「支援」を語り、深めよう サポート研会員を中心として実践報告会 荒木大輔氏、シグナー弘美氏、本庄一聖氏	2008年 9月20日 13時30分～17時	港区立障害保健福祉センター	10名	障害者の生活支援に関わる者約20名	
ジョイントプロジェクト2008(2)	「多様化する支援から見えてきたこと…変わったこと、かわらないもの」サポート研会員による意見交換 伊東宏信氏、伊藤寿浩氏、稲木俊夫氏	2008年 11月9日 13時30分～17時	港区立障害保健福祉センター	10名	障害者の生活支援に関わる者約20名	
ジョイントプロジェクト2008(3)	「どうだった？研究セミナー」	2009年3月20日	港区立障害保健福祉センター	10名	障害者の生活支援に関わる者約20名	
関西セミナー	「どんな状況でも本人中心の支援を」～それを阻むものは何か～	2008年 11月29日	京都女子大学B館	20名	障害者の生活支援に関わる者約200名	
合同研究会	「地域での自立生活をもっとひろげよう」北野誠一氏による講演(東洋大学教授)	2008年 12月23日 13時30分～16時45分	港区立障害保健福祉センター 竹芝小ホール	10名	障害者の生活支援に関わる者約20名	
研究セミナー	「ほんとうの自立支援とは～本人中心の支援の在りかたを問う～」小澤温氏による基調講演、松端克文氏、松村昌子氏、牧野賢一氏、藤田進氏による実践報告及び分科会(二日目)	1月31日 10時～17時 2月1日 9時30分～15時30分	新宿NSビルスカイカンファレンス及びホール	20名	障害者の生活に関わる者約300名	182万円

## (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

# 決 算 報 告 書

---

(第 8 期)

自 平成 19 年 4 月 1 日  
至 平成 20 年 3 月 31 日

NPO 全国障害者生活支援研究会

東京都国分寺市戸倉 4-13-19-101

## 貸借対照表

NPO 全国障害者生活支援研究会

平成20年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 5,656,325】	負 債 合 計	0
現 金	53,539		
預 金	5,006,646		
仮 払 金	596,140		
【固 定 資 産】	【 395,257】	正 味 財 産 の 部	
(有 形 固 定 資 産)	( 313,231)	【正 味 財 産】	【 6,051,582】
工 具 器 具 備 品	313,231		
(無 形 固 定 資 産)	( 82,026)		
電 話 加 入 権	82,026		
		正 味 財 産 合 計	6,051,582
資 産 合 計	6,051,582	負 債 ・ 正 味 財 産 合 計	6,051,582

収 支 計 算 書

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

(単位：円)

## I 収 入 の 部

1 年会費収入	1,320,000	
2 セミナー参加費	3,147,000	
3 雑収入	4,500	
4 受取利息	3,066	
当期収入合計		4,474,566
前期繰越収支差額		6,051,582
収入合計		10,526,148

## II 支 出 の 部

## 事業費及び管理費

雑 給	1,062,370	
外 注 費	1,795,655	
旅 費 交 通 費	0	
通 信 費	292,927	
消 耗 品 費	129,871	
租 税 公 課	1,500	
荷 造 発 送 費	121,430	
事 務 用 品 費	110,448	
広 告 宣 伝 費	0	
支 払 手 数 料	212,435	
諸 会 費	110,000	
地 代 家 賃	600,000	
会 議 費	16,000	
助成金研究事業費	1,999,763	
雑 費	13,052	
特別会計へ繰り出し		121,540
当期支出合計		6,586,991
当期収支差額		-2,112,425
次期繰越収支差額		3,939,157

# 正味財産増減計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
年会費収入	1,320,000	1,482,000	-162,000
セミナー参加費	3,147,000	4,004,700	-857,700
雑収入	4,500	0	4,500
受取預金利子	3,066	2,421	645
経常収益計	4,474,566	5,489,121	-1,014,555
(2) 経常費用			0
雑給	1,062,370	1,030,480	31,890
外注費	1,795,655	2,855,033	-1,059,378
旅費交通費	0	7,520	-7,520
通信費	292,927	441,335	-148,408
消耗品費	129,871	348	129,523
租税公課	1,500	1,000	500
荷造発送費	121,430	19,980	101,450
事務用品費	110,448	210,860	-100,412
広告宣伝費	0	2,000	-2,000
修繕費	0	0	0
支払手数料	212,435	161,165	51,270
諸会費	110,000	100,000	10,000
地代家賃	600,000	600,000	0
会議費	16,000	69,545	-53,545
助成金研究事業費	1,999,763	2,563,966	-564,203
雑費	13,052	28,079	-15,027
特別会計へ繰出金	121,540	71,510	50,030
経常費用計	6,586,991	8,162,821	-1,575,830
当期経常増減額	-2,112,425	-2,673,700	561,275
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,112,425	-2,673,700	561,275
一般正味財産期首残高	6,051,582	8,725,282	-2,673,700
一般正味財産期末残高	3,939,157	6,051,582	-2,112,425
II. 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	3,939,157	6,051,582	-2,112,425

# 決 算 報 告 書

---

(第 9 期)

自 平成 20 年 4 月 1 日  
至 平成 21 年 3 月 31 日

NPO 全国障害者生活支援研究会

東京都国分寺市戸倉 4-13-19-101

## 貸借対照表

NPO 全国障害者生活支援研究会

平成21年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
		負 債 合 計	0
		純 資 産 の 部	
		【一般会計より繰入】	【 121,540】
		(利 益 剰 余 金)	( ▲121,540)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	▲121,540
		繰 越 利 益 剰 余 金	▲121,540
		純 資 産 合 計	0
資 産 合 計	0	負 債 ・ 純 資 産 合 計	0

## 損益計算書

NPO 全国障害者生活支援研究会

自 平成20年 4月 1日

至 平成21年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
<b>【売 上 高】</b>	
資料集売上高	960
売上総利益金額	960
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	52,500
営業損失金額	51,540
経常損失金額	51,540
税引前当期純損失金額	51,540
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期純損失金額	121,540

## 販売費及び一般管理費

NPO 全国障害者生活支援研究会

自 平成20年 4月 1日

至 平成21年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
支 払 手 数 料	52,500	
合 計		52,500

財産目録

科目			
現金		22,693	22,693
預金	三菱東京UFJ銀行普通預金 三菱東京UFJ銀行普通預金 郵便振替口座	2,857,185 0 67,882	2,925,067
仮払金	前期以前より 冊子在庫分	225,612 370,528	596,140
器具備品	パソコン 机いす一式	209,370 103,861	313,231
電話加入権		82,026	82,026

全国障害者生活支援研究会の編成20年度の決算について以上のとおり報告いたします。

平成21年 5 月 25 日 全国障害者生活支援研究会事務長 村尾 朗 印

監査の結果、上記のなようについて適切に処理されていることを認めます。

平成 2 1年 5 月 30 日 全国障害者生活支援研究会監査

清水 明彦

印

永倉 春男

印

特定非営利活動法人全国障害者生活支援研究会（サポート研）  
2009年度（平成21年度）事業計画（案）

【はじめに】

サポート研は、新年度を迎えるにあたって研究会そのもの及びその活動について、理事や会員間での話し合いを続けてきました。その中で、NPO 法人としての事務局体制の強化、研究委員会活動の活性化、支援者の立場や障害者をめぐる施策などの多様化への対処など山積している課題があげられ、これについて率直な意見交換がなされました。また、その中でサポート研の存在意義については、「支援の本質を語る数少ない場」、「支援実践に基づいた情報を共有していく場」、「同じく支援実践や障害のある人たちの生活実態に基づき制度に対して物申していく場」として、今後も続けていくべきだという意見が強く出されました。こうした議論を踏まえて、今回の定例総会に臨んで理事役員などの大幅な変更、研究委員会活動の見直しのスタートとしての運営体制の変更、NPO 法人としての事務的な整理などを提案させていただきます。

まず理事に関しては、関東を中心に人数を大幅に整理します。理事会にはNPO 法人としての社会的責任及び組織を動かしていくための事務的な処理を間違いなく執行していく役割を付与し、機能的な理事会を開催していくことにします。また、監事は変更し、顧問は廃止をします。そして、新たに実質的に研究会活動を推進していく母体として、運営委員会をスタートさせます。運営委員会には、幹事をおきます。幹事のうち今まで理事としての役割があった方を中心に代表幹事とし、運営委員会を牽引する役割を持つようにします。運営委員会はサポート研の正会員が自由に参加できるものとし、会員間の活発な意見交換などの場として設定します。関東と関西とそれぞれの地域で運営委員会を開催することで、ここが活動の拠点となるとともに、セミナーの開催などを企画実施することができるようにします。研究委員会活動は、時宜を得たテーマ、会員が学び研究したいテーマを設定しながら、大幅に整理していきます。今の時点では、「自立支援」「地域生活支援」「入所施設から地域へ」「相談支援」といったテーマによる学習・研究活動などが検討されています。また今年度は、サポート研と関係が深い組織が開催する「グネル氏講演会」を後援しながら、グネル氏から学ぶ活動も予定しています。運営委員会活動をとおして、さらなるテーマが提案されてくることも期待されるところです。

いずれにせよ、活発な活動が確保されるよう理事、監事、代表幹事は可能な限り無理のない活動しやすい体制づくりに協力することとし、時間をかけて丁寧なリニューアルを図りたいと考えています。意見交換や情報交換などを含め、会員による活発な活動が図られることで、新しい会員を迎え入れる素地を整えることにもつながるよう取り組みを開始いたします。

1. 役員など組織の見直しについて

【理事会】

理事（会長） 赤塚光子  
理事（副会長） 坂田晴弘 松永徹  
理事 魚谷早苗  
理事 澤健司  
理事（事務局） 村尾朗  
監事 明石洋子  
監事 末村光介

【運営委員会・代表幹事】

理事とともにサポート研の運営にかかわることとします。関東地区と関西地区でそれぞれ活動し、セミナー等を企画します。

安藤真洋  
赤平守  
金沢信一  
山田隆史  
岩崎隆彦  
加藤啓一郎  
寺谷富和

【運営委員会・幹事】

今まで理事などの役員であったり各研究会の幹事であったりした者が運営委員会の活動が軌道にのるまでの間、中核となって運営委員会を牽引する役割を担うものとします。

【21年度の研究会活動のテーマ】

「自立支援に関する研究会」「地域生活支援に関する研究会」「入所施設から地域を考える研究会」「相談支援に関する研究会」「グネル氏の講演会に関する研究会」

2. 理事会などの日程について

【理事会】…4月 9月 2月

【定例総会】6月

【運営委員会】6月 7月 8月 10月 11月 1月 3月

【合同研究会】12月

【研究セミナー】1月

3. 障害者の生活支援に関する研究事業

(1) 研究会活動（継続・通年）

今年度は各研究会活動を全体的に見直し、下記の運営委員会により全体で検討しながら研究委員会活動を再編します。テーマは「自立支援」「地域生活支援」「入所施設から地域へ」「相談支援」といったものを中心に考えます。

(2) 運営委員会による活動（新規・通年）

会員相互が発信する仕組みを考え日常的な課題についてレスポンスが得られるような場を研究会の枠を超えて提案し、会員自身がエンパワメントする場として新たに運営委員会を定期的に開催します。運営委員会の構成はサポート研の会員全体としますがその運営に中心的に係る方々を幹事とします。またサポート研の運営に関することについてはこの運営委員の中から代表幹事を決めておくこととします。

4. 障害者の生活支援に関する講演会、セミナーなどの事業

(1) 後援会・セミナーなどの開催

①研究セミナー

◆ 日時：2010年1月30日（土）および31日（日）

◆ 場所：新宿NSビル

◆ テーマ：「未定」

◆ 内容： 1日目 全体会、基調講演およびシンポジウム  
2日目 分科会（テーマに分かれて行います）

②関西セミナー

◆ 2009年11月28日（土）に実施します。

③合同研究会

◆ 2009年12月23日（水）に実施します。

(2) その他の事業

◆ グネル氏講演会の企画と実施

◆ JDなど関係団体との連携を図ります。

5. 障害者の地域生活に関する提言および啓発事業

(1) 会報の発行、資料などの発行を行い、会員相互の情報交換に努めます。

(2) ホームページおよびメールリングリストを運営し情報提供を強化します。

(3) 政策提言や見解の公表およびその他の情報発信を行います。

(4) 新規会員の確保に努めます。

4. 法人運営体制の整備

(1) 役員体制の変更

①理事の変更

②監事の変更

③顧問の廃止

(2) 法人事務の処理

①登記の処理

②定款の変更

## 2009年度(平成21年度)全国障害者生活支援研究会収支予算(案)

2009年4月1日より2010年3月31日

## 収入の部

項目	今年度予算額	前年度予算額	前年度決算額	備考
会費収入	¥ 1,320,000	¥ 1,520,000	¥ 1,320,000	一般会員=126名、情報会員=10
公開セミナー参加費	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ -	
研究セミナー参加費	¥ 3,200,000	¥ 3,490,000	¥ 3,147,000	会員=69名、情報会員=10名、一般参加=200名
冊子等売上	¥ 10,000	¥ 50,000	¥ 4,500	
預金利息	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ 3,066	
前期繰越金	¥ 3,939,157	¥ 6,051,582	¥ 6,051,582	
計	¥ 8,971,157	¥ 11,613,582	¥ 10,526,148	

## 支出の部

項目	今年度予算額	前年度予算額	前年度決算額	備考
雑給	¥ 1,000,000	¥ 1,000,000	¥ 1,062,370	事務員及び講師謝金等
外注費	¥ 2,000,000	¥ 2,900,000	¥ 1,795,655	京王観光および溝内会計事務所
旅費交通費	¥ 200,000	¥ 200,000	¥ -	理事会及びJD等の活動費
通信費	¥ 300,000	¥ 500,000	¥ 292,927	電話、ファックス、メール等、セミナー要綱発送費など
会議費	¥ 20,000	¥ 100,000	¥ 16,000	会場費
地代家賃	¥ 600,000	¥ 600,000	¥ 600,000	事務所家賃
発送費	¥ 120,000	¥ 20,000	¥ 121,430	上記以外の発送に係る経費
消耗品費	¥ 100,000	¥ -	¥ 129,871	
事務用品費	¥ 100,000	¥ 210,000	¥ 110,448	事務用品
広告宣伝費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	HP管理費など
支払手数料	¥ 200,000	¥ 160,000	¥ 212,435	
諸会費	¥ 110,000	¥ 250,000	¥ 110,000	JD年会費その他
租税公課	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ 1,500	
雑費	¥ 150,000	¥ 150,000	¥ 13,052	法人登記に係る手数料(100,000円)を含む
助成研究費	¥ -	¥ 2,000,763	¥ 1,999,763	助成金研究は20年度末で終了
販売経費	¥ 100,000	¥ 71,510	¥ 121,540	冊子等販売に係る経費として
予備費	¥ 3,960,157	¥ 3,440,309	¥ 3,939,157	次年度繰越金
計	¥ 8,971,157	¥ 11,613,582	¥ 10,526,148	